

原子力発電に依存しない社会へ転換を！！

2016年4月から「電気事業法」が改定され、電力の小売が全面自由化されました。既存の電力会社から新電力への契約の切替えが行われていますが、半年を経過した時点でも2.7%に留まっています。様子見の人も多いと思います。が、ぜひ未来につながる電気を選択し、エネルギーの自治を進めましょう！

脱原発・エネルギー自給
生活クラブエナジーの挑戦

9月6日、神奈川県ネットワーク運動は(株)生活クラブエナジー代表取締役の半澤彰浩さんを講師に、学習会「未来をつくる電気の共同購入」を開催しました。

生活クラブグループで、2014年に生活クラブエナジーという電力会社を設立し、今年6月から、自然エネルギーを中心とした電気の供給を始めています。

現在、多くの新電力の電源構成は化石燃料(火力)中心で

すが、生活クラブエナジーの自然エネルギー割合は、2015年度実績で63%、共同購入への参加者を増やすことで100%をめざし、同時に省エネ・節電も進めていくことです。

自然エネルギーへのシフトは世界の潮流

2011年3月の福島第一原発事故を契機に、ドイツでは2022年までの原発全廃を決め、欧州を中心に脱原発の動きが進んでいます。台湾も2025年に原発をゼロにするを発表しました。

多くの先進国が再エネ比率40%以上を目標としている中で、日本はまだ原発の再稼働や推進を行っており、2030年の再エネ比率も最大24%という目標は低すぎます。原発事故のあった当事国の日本で、なぜ自然エネルギーへのシフトが進まないのか理解に苦しみます。私たち市民が自然エネルギーを選択することで、実態としてのエネルギーシフトを進めていきましょ！

kanagawa
net
神奈川県ネットワーク運動

神奈川県ネットワーク運動
高津Weネットニュース

川崎市高津区末長4-12-23

TEL/FAX:044-829-5237
URL: <http://takatsu.kgnet.gr.jp/>

家庭「ごみ」についての調査をしています。

ごみの発生抑制(リデュース)・再利用(リユース)・再生使用(リサイクル)の3Rをすすめている川崎市では、プラスチック容器包装・ミックスペーパーの分別開始から3年が経過しました。最初は分別に慣れなかった方々も、「燃やすごみ」の減少と共に、分別の意義として「捨てればごみ、いかせば資源」を実感されたのではないのでしょうか。しかし、高齢者や障害者、あるいは他自治体からの転入者や外国人の方々には分別の方法が解りにくいとのこと意見が多数あります。

また、まだ使える家具を無料で譲渡し再利用する制度、粗大ごみを家から搬出できない場合や毎日のごみ出しが困難な独居高齢者や障がい者のために個別に収集する「ふれあい収集」制度があります。誰もが暮らしやすく、快適な生活環境の維持につなげるため、認知度や利用者等を検証します。是非ご協力下さい。

はがきを投函またはファックスで11月末日までにご回答お願いいたします。

ファックス番号 044-750-0949

家庭「ごみ」アンケートにご協力下さい

回答は該当する方に○を付けて下さい。

()内は、その内容について記述して下さい。

- 資源ゴミを出すに当たって、困ったことがありますか?
ない ある()
- 粗大ゴミを出すに当たって、困ったことがありますか?
ない ある()
- ふれあい収集を知っていますか?
知らない 知っている
- ふれあい収集を知っている方に伺います。
ふれあい収集を利用したことがありますか?
していない している
利用して困ったことがありますか?
()

※ふれあい収集とは、自分でゴミを持ち出すことができない一人暮らしの高齢者(65歳以上)の方や、障がいのある方などを対象とした制度で、収集日に職員が自宅前まで行きます。

- その他、「ごみ」についてのご意見